

## 選挙制度に関する主題学習

- 参議院選挙の当選者調査を通じて政治を身近なものに -

岐阜県立長良高等学校  
後藤慎二

### 目次

- 〔1〕 単元「現代日本の政治」の指導・評価計画
- 〔2〕 学習指導案1 「参議院議員選挙当選者調査」
- 〔3〕 学習指導案2 「参議院議員選挙当選者調査にもとづく考察」
- 〔4〕 資料1 「2004参議院議員選挙 調査プリント」
- 〔5〕 資料2 「2004参議院議員選挙 調査プリント」 生徒記入例
- 〔6〕 資料3 「2004参議院議員選挙 調査プリント」
- 〔7〕 資料4 「2004参議院議員選挙 調査プリント」 生徒記入例
- 〔8〕 資料5 「2004参議院議員選挙 調査集計(選挙区)」
- 〔9〕 資料6 「2004参議院議員選挙 選挙区分析」
- 〔10〕 資料7 「2004参議院議員選挙 調査集計(比例区)および分析」
- 〔11〕 資料9 「2004参議院議員選挙 調査プリント」 授業を受けての感想
- 〔12〕 資料10 「2004参議院議員選挙 調査プリント」 自己評価集計

選挙における投票率の低下が叫ばれて久しい。なかでも、20歳代の若者の低投票率は深刻さの度合いを深めている。「誰に投票しても同じ」「政治に興味がない」「たかが一票」等々、投票に行かない人々にもそれなりの言い分はある。しかし、「政治を軽蔑する人間は、軽蔑した政治しか持つことができない」という言葉があるように、投票率の低下は、結局は自分たちの社会生活にはね返ってくることになる。

一方、若者(18歳~24歳)の政治への関心度は高まっているというデータも示されている。「政治に対して非常に関心がある・まあ関心がある」という回答が、6年前に比べ9.5%上昇したという調査結果(2004年内閣府調査)がある。また、2003年の衆議院選挙の投票率は、2001年の参議院選挙に比べて20歳代の投票率が4%上昇していることもそれを裏付けている。しかし、若者たちは、政治に関心がないわけではないが、投票所に足を運ばないという相反する姿勢を見せる。政治を身近に感じることができる機会や仕組みが社会や教育システムの中にあれば、若者の投票率は必ずや上昇するに違いないし、それが政治を変えることにもつながっていくのであろう。

公民科各科目の目標には、「良識ある公民として必要な能力と態度を育てる」と記されている。参議院議員選挙の当選者調査を通じて選挙や政治に興味・関心を抱かせるとともに、将来の有権者としての自覚を持たせ、若者の政治離れをくい止める一助とすることができればと思い、この授業を計画した。

# 単元指導・評価計画(政治・経済)

単元名 「現代政治と民主社会 - 現代日本の政治 - 」

## 単元の目標

現代政治における政党の役割や国民の政治参加の主要な方法である選挙の制度や課題などについて客観的な資料をもとに様々な角度から理解を深めさせ、それを踏まえながら、望ましい政治の在り方や主権者としての参政の在り方について具体的に考察させる。  
参議院議員選挙の当選者調査を通じて選挙や政治に対して興味・関心を抱かせるとともに、将来の有権者としての自覚をもたせ、積極的な投票行動を生み出す素地を形成する。

## 単元ごとの評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の選挙制度や政党政治の在り方が変化したことに関心をもっている。</li> <li>現代日本の政治や選挙の動向に対する関心が高まっている。</li> <li>有権者の多くが投票に行くようになるにはどうしたらよいかを考えようとしている。</li> <li>身近な生活と行政との関わりの中で、行政に対する疑問をもっている。</li> <li>選挙の際にマスメディアが出す「選挙報道」が、選挙結果にどのような影響を与えるかに関心がある。</li> <li>望ましい政治の在り方や国民の政治参加の在り方を客観的に考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>真に国民の意思が反映される選挙制度の在り方や日本の選挙制度の問題点を判断している。</li> <li>日本の政治課題を理解し、政治と国民との距離を縮め、真に国民のための政治を行うには何が必要かを考察できる。</li> <li>国民の政治的無関心の増加を食い止めるためにはどうしたらよいかを主体的に考察できる。</li> <li>行政改革の望ましい在り方と、国民本位の行政を実現するための制度について判断している。</li> <li>世論は現代の民主政治にとって欠かせないものであり、重要な役割を果たしていることを判断している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代日本の政治や選挙・世論の動向に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している。</li> <li>収集した資料の中から国民主権を原理とする民主政治の本質、現代政治の様々な特質、望ましい政治の在り方、国民の政治参加の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。</li> <li>国民主権を原理とする民主政治の本質、現代政治の様々な特質、望ましい政治の在り方、国民の政治参加の在り方について追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙の意義や日本の選挙制度の特徴が理解でき、日本の選挙の問題点が理解できている。</li> <li>日本の政党政治の特徴と問題点が理解できている。</li> <li>行政機能の拡大にともない発達した官僚制の役割と弊害が理解できている。</li> <li>日本の行政をめぐる問題点が理解できている。</li> <li>世論の形成の上でマスメディアが果たす役割とその課題が理解できている。</li> <li>利益集団・大衆運動・市民団体が、民主政治で果たしている意義と役割が理解できている。</li> </ul>

## 各授業時間ごとの主な内容

「現代政治と民主社会 - 現代日本の政治 - 」			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1 時間 目	選挙のしくみについての理解と考察 日本の選挙制度についての理解と考察	民主的な選挙の四原則、選挙区制、日本の選挙制度(衆議院・参議院)について認識し、選挙の意義や日本の選挙制度の特徴を理解する。【知】 日本の選挙制度や政党政治の在り方が変化したことに関心をもつ。【関】	行動観察・机間指導 サブノート 発問、発表 問題演習
2 時間 目	選挙をめぐる諸問題についての考察 政党政治のについて理解と考察	現代日本の政治や選挙の動向に対する関心が高める。【関】 日本の選挙及び政党政治の特徴と問題点を理解する。【知】 有権者の多くが投票に行くようになるにはどうしたらよいかについてを考える。【関】 国民の政治的無関心の増加を食い止めるためにはどうしたらよいかを主体的に考察する。【思】 真に国民の意思が反映される選挙制度の在り方や日本の選挙制度の問題点について考える。【思】 日本の政治課題を理解し、政治と国民との距離を縮め、真に国民のための政治を行うには何が必要かを考察する。【思】	行動観察・机間指導 サブノート 発問、発表 問題演習
3 時間 目	参議院議員選挙立候補者調査 マニフェスト比較	選挙区・比例区の立候補者等を調査等を中心に、現代日本の政治や選挙・世論の動向に関する諸資料を様々なメディアを通して収集する。【技】 各政党のマニフェストを収集・比較することにより、国民主権を原理とする民主政治の本質、現代政治の様々な特質、望ましい政治の在り方、国民の政治参加の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用する。【技】	行動観察・机間指導
4 時間 目	行政国家現象と官僚制についての理解と考察 日本の行政をめぐる諸問題についての考察	身近な生活と行政との関わりの中で、行政に対する疑問を感じることをあげる。【関】 行政改革の望ましい在り方と、国民本位の行政を実現するための制度について考える。【思】 行政機能の拡大にともない発達した官僚制の役割と弊害を理解する。【知】 日本の行政をめぐる問題点を理解する。【知】	行動観察・机間指導 サブノート 発問、発表 問題演習
5 時間 目	世論の形成とマスコミに関する理解と考察 利益集団と市民参加についての理解と考察	世論の形成の上でマスメディアが果たす役割とその課題を理解する【知】。 世論は現代の民主政治にとって欠かせないものであり、重要な役割を果たしていることについて考察する。【思】 利益集団・大衆運動・市民団体が、民主政治で果たしている意義と役割を理解する。【知】	行動観察・机間指導 サブノート 発問、発表 問題演習

6 時 間 目	参議院議員選挙当選者調査 模擬選挙についての考察	望ましい政治の在り方や国民の政治参加の在り方を客観的に考える。 【関】 選挙区の当選者、比例区の議席の調査により、選挙が政治に対する関心を高め、政治の状況や構造を理解しようとする意欲を喚起し、主体的に課題を追究する態度を養う。 【関】 選挙の際にマスメディアが出す「選挙報道」が、選挙結果にどのような影響を与えるかについて考察し関心をもつ。 【関】 選挙の仕組みや政党の特色を理解する。 【知】 模擬選挙について理解し、この制度が実施される背景を理解する。 【知】	行動観察・机間指導 調査プリント
7 時 間 目	参議院議員選挙当選者調査 にもとづく考察	選挙区の当選者、比例区の議席の調査により、選挙が政治に対する関心を高め、政治の状況や構造を理解しようとする意欲を喚起し、主体的に課題を追究する態度を養う。 【関】 各自の当選者調査と開票結果を比較し、その相違について考察分析し、マスメディアと選挙との関係について考察する。 【関】 開票結果の分析・考察を行うことを通して、国民主権を原理とする民主政治の本質，現代政治の様々な特質，望ましい政治の在り方，国民の政治参加の在り方について追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明する力を養う。 【技】	行動観察・机間指導 調査プリント

# 学 習 指 導 案 1

日 時	平成16年7月9日(金) 第1限	指導クラス	3年6組(男子12名, 女子25名)	指導者	後藤 慎二
教科(科目)	公 民 (政治・経済)	単元名	現代政治と民主政治 - 現代日本の政治 -		
本時の主題	選挙制度に関する主題学習 「2004参議院議員選挙当選者調査」 (6時間目/7時間)				
本時の 目 標	<p>選挙区の当選者, 比例区の議席の調査により, 選挙が政治に対する関心を高め, 政治の状況や構造を理解しようとする意欲を喚起し, 主体的に課題を追究する態度を養う。【関】</p> <p>マスメディアの「選挙報道」が, 選挙結果にどのような影響を与えるかについて考察し関心をもつ。【関】</p> <p>選挙の仕組みや政党の特色を理解する。【知】</p> <p>模擬選挙について理解し, この制度が実施される背景を理解する。【知】</p>				
過程	学習項目(指導のねらい)	学 習 活 動		指導上の留意点・観点別評価	
導 入   展   開   ま と め	本時の学習活動について	選挙区当選者調査の方法について  比例区議席数調査の方法について		当選者・議席数を予想するのではなく, マスメディアの情報を活用して「調査」することを理解させる。	
	選挙区当選者調査  ・興味・関心を持ち主体的に取り組むことができる。  ・選挙権はないが, 主権者としての立場で考えることができる。	担当選挙区当選者調査 ・様々なメディアの情報に基づき, 当選者を調査する。 [方法] ・一人3選挙区担当(割り当て済み) ・調査結果をプリントに記入 [活用メディア] ・終盤情勢(7月5日朝刊各紙) ・直近の情勢(新聞各紙ホームページ等) ・マニフェスト(各政党ホームページ) (「seiron(政論)」ホームページ) ・立候補者プロフィール(候補者ホームページ等)		時間を有効に活用できるよう, ホームページ活用法等のアドバイスを行う。  机間指導を行い, 個別に選挙区情勢等についての指導・助言を行う。【思】【関】  マスメディアによる情報に違いに注目させる。【思】	
	比例区議席調査  ・興味・関心を持ち主体的に取り組むことができる。  ・政党の公約や特色が理解できる。	比例区議席調査 ・様々なメディアの情報に基づき, 各政党の議席数を調査する。 [方法] ・各自が改選48議席を調査 ・調査結果をプリントに記入 [活用メディア] ・終盤情勢(7月5日朝刊各紙) ・直近の情勢(新聞各紙ホームページ等) ・マニフェスト(各政党ホームページ) (「seiron(政論)」ホームページ) ・立候補者プロフィール(候補者ホームページ等)		参議院の比例区選挙のしくみを理解させる。【知】  マスメディアの情報をもとに, どのような根拠で議席を確定したかを明らかにさせる。【思】  行き詰まっている生徒には援助を行う。  [評価方法] 行動観察・机間指導 【関】	
	模擬選挙について  ・若者の政治離れをくい止めようとしていることを理解する。	未成年者に対する模擬選挙の形態と方法 ・未来の有権者を育てるための模擬選挙を実施している団体を紹介する。 [紹介模擬選挙] ・「未成年 <b>模擬</b> 参議院選挙」(NPO法人Rights) ・「未成年による <b>模擬</b> 参議院選挙」(NPO法人G-net)		模擬選挙の背景には, 若者の低投票率があることを理解させる【思】【関】  あくまでも紹介程度にとどめ, 興味・関心がある生徒は個人的に参加をさせる。	
まとめ	まとめ	調査プリント記入  次回の授業の予告 ・調査と開票結果を比較し考察することを予告する。 ・選挙報道番組や新聞報道に注目するよう指示する。		[評価方法] 調査プリント  【関】【思】【技】	

## 学 習 指 導 案 2

日 時	平成16年7月12日(月) 第2限	指導クラス	3年6組(男子12名, 女子25名)	指導者	後藤 慎二
教科(科目)	公 民 (政治・経済)	単元名	現代政治と民主政治 - 現代日本の政治 -		
本時の主題	選挙制度に関する主題学習 「2004参議院議員選挙当選者調査にもとづく考察」 (7時間目 / 7時間)				
本時の 目 標	<p>選挙区の当選者, 比例区の議席の調査により, 選挙が政治に対する関心を高め, 政治の状況や構造を理解しようとする意欲を喚起し, 主体的に課題を追究する態度を養う。 【関】</p> <p>各自の当選者調査と開票結果を比較し, その相違について考察分析し, マスメディアと選挙との関係について考察する。 【関】</p> <p>開票結果の分析・考察を行うことを通して, 民主政治の本質, 現代政治の様々な特質, 国民の政治参加の在り方などについて追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明する力を養う。 【技】</p>				
過程	学習項目 (指導のねらい)	学 習 活 動		指導上の留意点・観点別評価	
導 入	本時の学習活動について	<p>当選者調査と開票結果との比較について</p> <p>〔資料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当選者調査の集計表(選挙区・比例区)</li> <li>・開票結果(7月12日朝刊)</li> <li>・調査プリント (返却)</li> </ul>		<p>興味・関心を持って比較をすることができたか。 【関】</p>	
	<p>調査的中率の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他人との比較のなかで自分の調査を考えさせる。</li> </ul> <p>選挙区分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な角度から考察・分析することができる。</li> </ul> <p>比例区分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な角度から考察・分析することができる。</li> </ul> <p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な取り組みを振り返ることができる。</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を適正に評価することができる。</li> </ul>	<p>担当選挙区当選者調査の的中率を計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の生徒が調査したのものも含めて計算する。</li> </ul> <p>担当選挙区の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分析結果をプリントに記入する。</li> <li>・同一選挙区を担当した生徒と意見交換することが望ましい。</li> </ul> <p>比例区の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分析結果をプリントに記入する。</li> <li>・他の生徒と意見交換をすることが望ましい。</li> </ul> <p>授業を通じての感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想をプリントに記入する。</li> <li>・改善点があれば指摘する。</li> </ul> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5項目について4段階で評価をする。</li> </ul>		<p>的中率の高低は, どのような意味があるのかを考えさせる。 【思】</p> <p>単に当選者の比較をするだけではなく, 当選者調査をする過程でのマスメディアの情報にもとづいて分析させる。【思】【技】</p> <p>机間指導を行い, 個別に指導・助言を行う。</p> <p>単に議席数を比較するのではなく, 当選者調査をする過程でのマスメディアの情報にもとづいて分析させる。 【思】【技】</p> <p>〔評価方法〕 行動観察・机間指導 【関】</p> <p>主体的に取り組んだ様子が見ええるような内容が望ましい。 【思】【技】</p> <p>〔評価方法〕 調査プリント【関】【思】【技】</p> <p>授業への取り組みを振り返ることができる自己評価とする。 【思】【関】</p> <p>〔評価方法〕 調査プリント【関】【思】【技】</p>	
ま と め	振り返り	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の授業内容を振り返り, まとめをする。</li> </ul>		<p>今後の政局についても簡潔に触れる。</p>	

# 2004参議院議員選挙 調査プリント

3年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

## 【選挙区】

--

改選議席	
------	--

	候補者名	政党名	活用メディア・情報等
1			
2			
3			
4			

## 【選挙区】

--

改選議席	
------	--

	候補者名	政党名	活用メディア・情報等
1			
2			
3			

## 【選挙区】

--

改選議席	
------	--

	候補者名	政党名	活用メディア・情報等
1			
2			
3			

## 【比例区】

改選議席	48
------	----

政党名	みどり	自民	女性	社民	新風	公明	民主	共産
議席数								
活用メディア・情報等								



2004参議院議員選挙 調査プリント 1

3年 6組 32番 氏名

【選挙区①】

北海道	改選議席	2
-----	------	---

	候補者名	政党名	活用メディア・情報等
1	峰崎直樹	民主党	中日新聞：連合の組織票と、無党派層にも支持を広げている(峰崎氏)民主。 前回までは自民、民主が1議席ずつ分け合ってきたが、現在の様子では、民主の方が支持率が高いため、知名度から、鈴木宗男氏が当選する予想。 自民党ではなく
2	鈴木宗男	無所属	
3			
4			

【選挙区②】

福島県	改選議席	2
-----	------	---

	候補者名	政党名	活用メディア・情報等
1	岩城光栄	自民党	中日新聞：岩城氏は公明党、佐藤氏は連合の推せんがある。2名とも前回当選しており、各地域での支持層が厚い。地方新聞より、小泉改革への評価が6割と、自民優勢である風潮があるため。
2	佐藤雄平	民主党	
3			

また、峰崎氏は年金未納ということが分かっているが、あまり大きな問題としても取り上げられず、それを年金問題に取り上げている。→ YAHOOの地方新聞より

【選挙区③】

沖縄県	改選議席	1
-----	------	---

	候補者名	政党名	活用メディア・情報等
1	系数慶子	無所属	YAHOO沖縄ニュースより、世論調査の結果、系数氏が優勢である。さらに投票したい政党は自民く民主の様子。よって、無所属だが、支持の広い系数氏が当選。
2			
3			

【比例区】

改選議席	48
------	----

政党名	みどり	自民	女性	社民	新風	公明	民主	共産
議席数	0	1.6	0	3	0	4	21	4
活用メディア・情報等		中日新聞の比例代表の名簿を見ると、 自民党は様々な分野から人選している(スキー選手、プロレスラーなど)が、やはり小泉首相の支持率が下がっているため、人気だけで票を集めるのは難しい。一方、民主党は支持率が上がってきているので、多くの票を獲得できそうだから。						

2004参議院議員選挙 調査プリント - 調査を終えて -

3年 組 番 氏名

調査と開票結果との比較

【選挙区】

分析

【選挙区】

分析

【選挙区】

分析

【比例区】

政党名	みどり	自民	女性	社民	新風	公明	民主	共産
獲得議席数	0	15	0	2	0	8	19	4

分析

この授業を通しての感想

この授業における改善点があれば指摘してください

自己評価

〔 A : よくできた B : ややできた C : あまりできなかった D : できなかった 〕

- 1 興味・関心を持って授業に参加できましたか
- 2 自分なりに課題を把握し、主体的に授業に参加できましたか
- 3 選挙のしくみや政党の特色などが理解できましたか
- 4 メディアの情報を分析し、情報をまとめることができましたか
- 5 将来の有権者として、この授業は参考になりましたか




調査と開票結果との比較

【選挙区①】

北海道

分析  
自分の予想と違っていた。中日新聞や地方新聞で、峰崎氏が有利であると書いてあり、やはりその通りだった。鈴木氏は知名度としては高かったが、インターネットの情報に、中川氏が支持を得ているとあったのに、それを活用しなかったため、違っていた。

【選挙区②】

徳島

分析  
予想と同じ結果だった。地方新聞やインターネットの情報通り、3人中2人が初めから優勢だったため、その情報を利用した。他の人の予想を見ても90%以上の確率で当たっていた。

【選挙区③】

沖縄

分析  
予想と同じだった。中日、地方新聞などで、糸数氏が優勢だと分かっていたが、テレビ、インターネットなどで翁長氏が追いつけているという情報もあり、迷ったが、糸数氏を書いて、当たっていた。

【比例区】

政党名	みどり	自民	女性	社民	新風	公明	民主	共産
獲得議席数	0	15	0	2	0	8	19	4

分析  
少しずつ数が違っていたが、新聞などの予想を利用した結果、近いものになった。自民と民主がもう少し差が出ると思ったり、意外に差がなかった。

この授業を通しての感想

政治、選挙への興味がもてた。また、予想することで、その選挙区での動きや、公約として掲げているものがよく分かった。自民と民主が比例区で、どのような戦いになるのかとか、結局、自民+公明で民主を追い抜いたなど、これまでは意識外だったことも関心を持って情報を取り込めた。

この授業における改善点があれば指摘してください

選挙区によって、情報がたくさんある所とそうではない所があって、深く調べられる所とそうではない所の差ができた。

自己評価

[A:よくできた B:ややできた C:あまりできなかった D:できなかった]

- 興味・関心を持って授業に参加できましたか
- 自分なりに課題を把握し、主体的に授業に参加できましたか
- 選挙のしくみや政党の特色などが理解できましたか
- メディアの情報を分析し、情報をまとめることができましたか
- 将来の有権者として、この授業は参考になりましたか

A
B
B
B
A

## 2004参議院議員選挙 授業を受けての感想

今までの選挙は大人の人がやるものだと思っていたので全く意味がわからなかったけど、今回の授業で選挙っぽいことをして大人になった気分でした。まだまだ政治はよくわからない所もあるけれど、自分が有権者になったら絶対に選挙に行こうと思います。去年も今年も岐阜駅で模擬投票しました。去年は何もわからず投票したけど、今年は投票することに重さを感じました。

今までは全く全挙について興味も関心もなく、それなのに「小泉さんはいやだ」とか言っていました。でもこの授業で選挙のしくみや他県の人々の公約、新聞での予想などについて学び、模擬投票にも行き、選挙が少し身近なものになった気がします。最近では新聞の政治欄にも目を通すようになったし、テレビで選挙のことがやっているとみたりもしました。今若者の政治離れが言われていますが、こういう授業が他の学校でもどんどん増えていけばきっとそんな心配も多少なりでも減らせるのでは？と思いました。

こんなに選挙速報や選挙についての新聞を見たのは初めてでした。それぞれの人や党がどんな政策をしていてどんなアピールをしているのかを知りながらテレビを見るのは、ひと味違うおもしろさがありました。今後もこの経験を生かしていきたいです。

いつもは選挙の日の夜は選挙報道ばかりでつまらなくていやだったけど、予想をしり少し調べてみるだけでも選挙報道がすごくおもしろく感じる事ができたし、これからどうなっていくのか興味が沸いてきた。先生が紹介してくれた模擬投票もしてきてりして、いつもより選挙が身近に感じました。ニュースやTV ツクルがすごくおもしろかったです。

初め岐阜とは全くかけ離れた選挙区の候補者を調べるといってあまり親近感がなかったが、選挙当日の夜には、選挙ス ーションで古館さんとカウントダウンしてしまったほどになった。自分が調査した選挙区でも「この人は絶対いける！」と思っていたのに落選してしまったのを知ってしまった時は、それこそ自分のことのように悔しかった。ともあれ、今回の調査でかなり興味が沸いた。

今まで選挙についてこんなに調べたり関心を持ちたりしたことがなかったので、とても良い機会になった。どの県をみても票が多く入っているのはたいてい自民党と民主党なので、二大政党制が強まっていると思った。

私の家では両親と姉3人が選挙に行き、私もこの授業を通じての話をしたのですごく関心を持って選挙をみる事ができた。比例区で民主党が勝利したことで大きく日本が変わるといいと思った。日本はサラリーマンの国だから年金問題が選挙の中心だったと思う。小泉さんがこれから国民に対して何かの形で応えていかなければ今回の選挙はむだになると思う。

今回自分自身で候補者から比例区の議席数、今日の状態などを一から調べたことによって選挙のしくみについてより深く学べた。また、疑問に思ったことを家族に聞いたりしてより選挙が身近なものに感じられるようになった。今回の授業で学んだことを2年後に生かしていきたい。

今までは自民党が勝って当たり前みたいな考えがあった。そういう点で民主党の前進は大きな衝撃だった。選挙ス ーションで田原総一郎の質問から逃げている小泉首相に腹が立った。

当選・落選の調査というものはやったことがなかったので正直うまくできるか心配でした。新聞やネットの情報をかき集めて何とか形にした結果、自分の調査とけっこう当たっていたのでよかった。比例区では支持率という点に着目し、おおよその数を計算した結果うまくできてよかった。また、この授業の期間中には模擬投票にも参加できたので貴重な体験だったと思う。

この調査をする前は本当に選挙に無関心で「誰になっても同じじゃあ〜」とか思っていたけど、調べてみると意外におもしろかったです。テレビで、「興味ナインイ」とか「意味わかんなあ〜い」と言っている若い人々を見たらちょっとむかつきました。(笑)

この授業を通じて選挙がすごく身近になった。親にも「選挙行った？」と聞いて驚かれた。いつも選挙の日はテレビが全部報道番組になっていやだなあ思っていただけだったけど、自分から日曜の選挙報道番組をビデオに撮ってもらったりした。2年後には有権者になるのでこれからもっと知っていきたい。

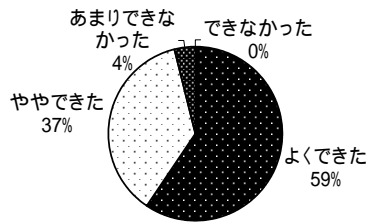
パソコンを利用して様々な情報を見たけど、選んだ情報によって差があると思った。特定の情報だけを見るよりもたくさんの情報を見てどれが真実味があるのかを選んで判断することが大切だと思った。自分の調査が3つとも外れてショックだったけど、この授業を通じてしくみがわかったし興味が沸いた。どれだけ正確な情報でも当たらないときがあるんだなあと宮崎の選挙を見て実感した。

興味が持てた。親は選挙に行かないし、特に父は一度も行ったことがないので、「選挙連れて行って」と言ったけど、「めんどくさい」と言われ、母には「行ってもいいけど中に入れないよ」とうそ？を言われ結局行かずに終わってしまった。自分が担当した選挙区の人が当選しているかどうかをテレビで見るのも楽しかった。

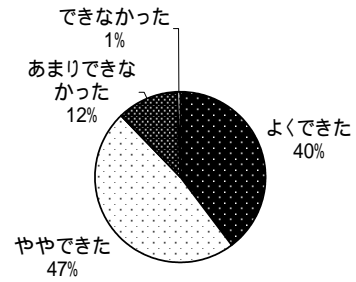
この授業のように自分で情報を調べて調査するのは、少し世の中のことを理解できたような気がしました。私も実際親について行きましたが、投票所はあらたまった感じがして少し緊張しました。あと2年で選挙権がもらえるので、責任を持って行きたいと思いました。

以前までは選挙報道は嫌いだったけど、今回調査した人が当選しているかどうかを早く知りたくてずっとテレビを見ていた。うちの親はお父さんしか選挙に行かなくて、お母さんはいつも行かないのでむかついた。お母さんは「一票くらいで...」と言うから、こんな人が日本にはたくさんいるのかなあと思てがっかりした。

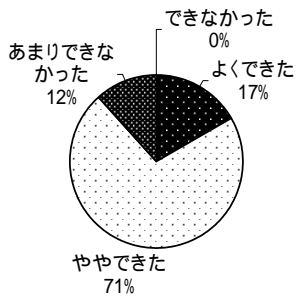
1. 授業への興味・関心



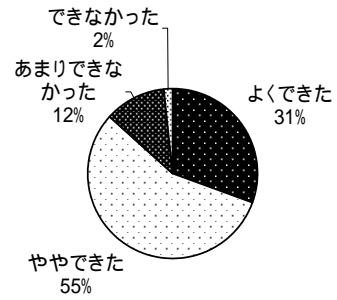
2. 授業への主体的参加



3. 選挙・政党の理解



4. 情報の分析・まとめ



5. 有権者としての参考度

